

# 駐輪場の草花図鑑

2024年春夏

マメ科シヤジクソウ属

# シロツメクサ

原産:ヨーロッパ

別名:クローバー

江戸時代、オランダ貿易で舶来品の緩衝材として乾して詰めこんだ草



マメ科シヤジクソウ属

# アカツメクサ

原産:ヨーロッパ

別名:ムラサキツメクサ

明治時代、緩衝材として使われるようになり、アカが移入してきたためクローバーの方をシロツメクサと呼称した。



マメ科シャジクソウ属

# コメツブツメクサ

原産:ヨーロッパ

別名:キバナツメクサク、小米詰草

花言葉は「おコメを食べましょう」



キク科ハハコグサ属

# セイタカハハコグサ

原産:ヨーロッパ

在来種の高ハハコグサより背が高い。



キク科チチコグサモドキ属

# ミナミウラジロチチコグサ

原産:南アメリカ

ウラジロチチコグサは北アメリカ原産と南アメリカ原産に2分される。種子の色が北は赤、南が淡い茶



キク科ノゲシ属

# ノゲシ

原産:ヨーロッパ

ケシの仲間ではなくアザミに近い。葉は茎を抱き込んで反対側に三角に突き出す。



キク科ムカシヨモギ属

# ハルジオン

原産:北アメリカ

茎が中空。近縁種のヒメジオンは茎の中身が詰まっている。

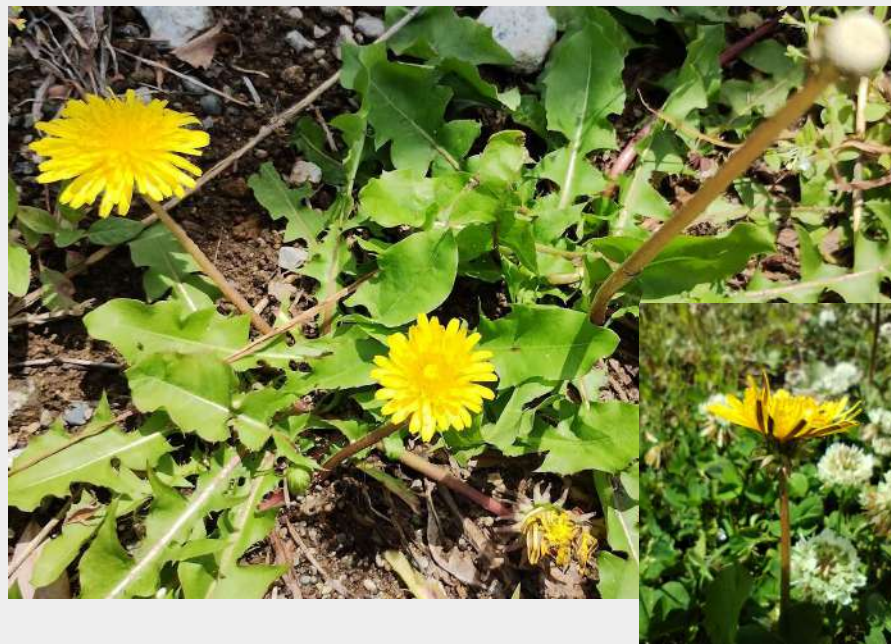


キク科タンポポ属

# セイヨウタンポポ

原産:ヨーロッパ

葉が地面に円形にはりついている(ロゼット状)、花の付け根の苞片が反り返っている。在来種には見られない。



キク亜科キオン属

# ノボロギク

原産:ヨーロッパ

キク科は食用が多く、葉は春菊に似ているが毒である。

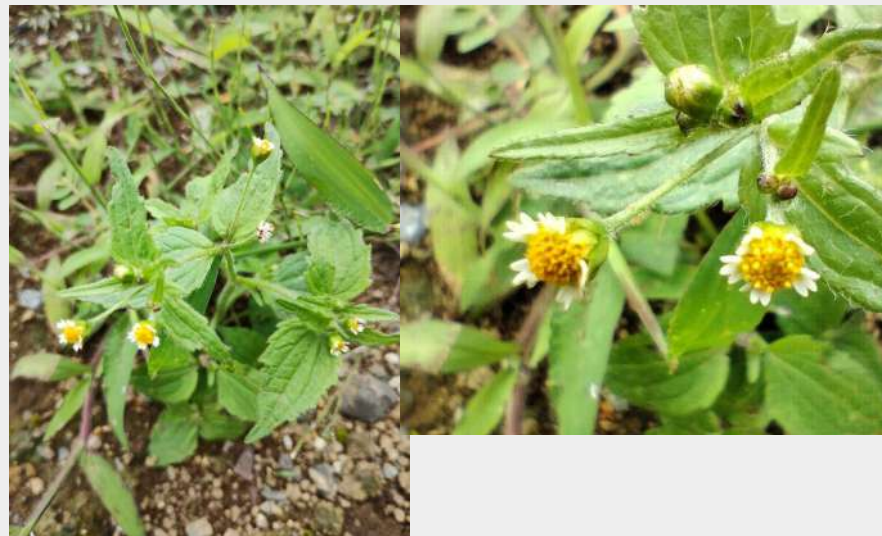


キク科コゴメギク属

# ハキダメギク

原産:北アメリカ

大正時代、牧野富太郎氏が「掃き溜め(共同ゴミ捨て場)」で発見、命名した。



ハエドクソウ科サギゴケ属

# トキワハゼ

原産: 日本

和名の由来、葉が常にあり、種子が爆  
ぜるため



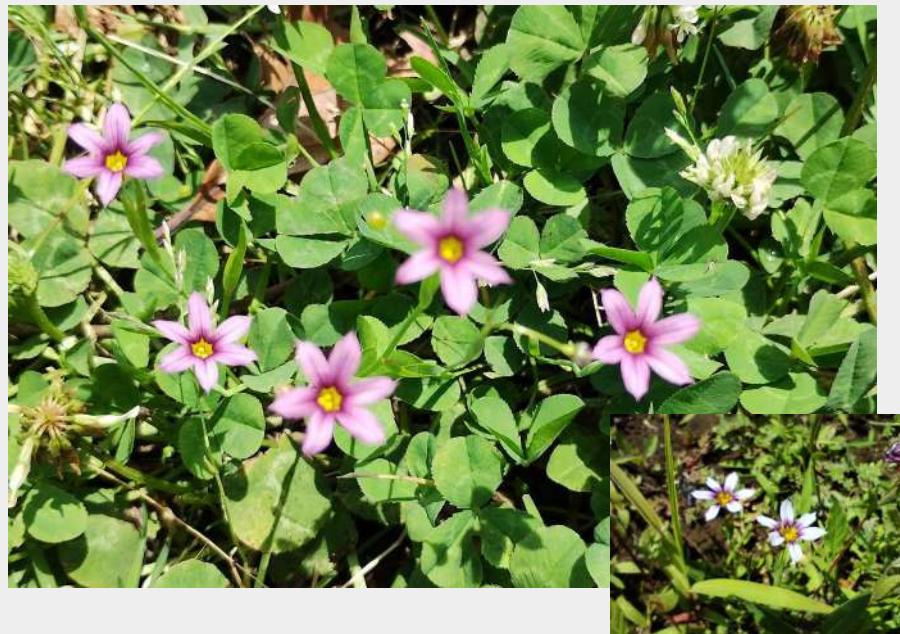
アヤメ科ニワゼキショウ属

# ニワゼキショウ

原産: アメリカ大陸

別名: シシリンチウム

白花も混じる。



アカバナ科マツヨイグサ属

# ユウゲシヨウ

原産:アメリカ大陸

別名:アカバナユウゲシヨウ

午後に咲くオシロイバナもユウゲシヨウの別名があるためアカバナユウゲシヨウと呼ぶ。白花も混じる。



アカバナ科マツヨイグサ属

# コマツヨイグサ

原産:南アメリカ

別名:月見草

受粉には蛾を利用するため、宵を待って咲く。待宵草





カタバミ科カタバミ属

# カタバミ

原産:ヨーロッパ

別名:スイバ

完熟の実に触れると、種子が鞘の隙間から弾け飛ぶ。シュウ酸を含む葉はヤマトシジミ(蝶)の幼虫が好む。



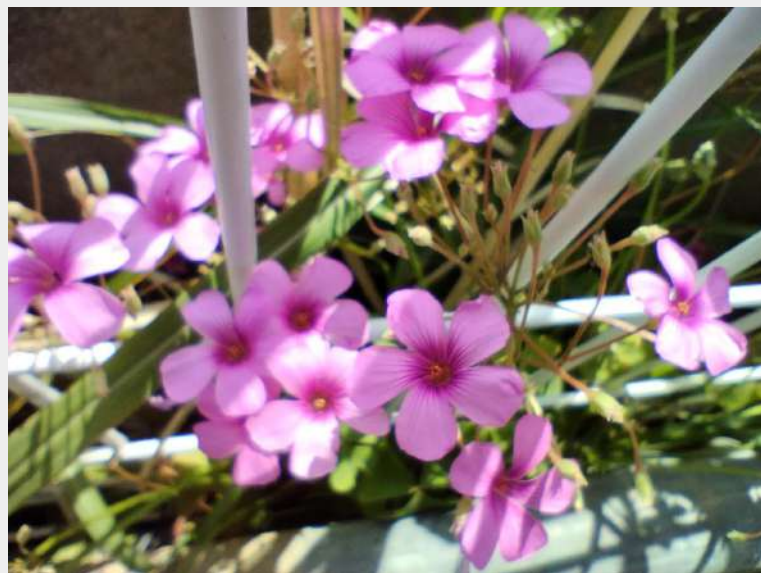
カタバミ科カタバミ属

# ムラサキカタバミ

原産:南アメリカ

別名:オキザリス

江戸時代末期、観賞用として導入。種子をつけず、球根で増える。



ヒルガオ科ヒルガオ属

# ヒルガオ

原産: 日本

アサガオが移入されてきてから、ヒルガオと呼称されるようになった。



フウロウソウ科フウロウソウ属

# アメリカフウロ

原産: 北アメリカ

在来種のゲンショウコ(漢方薬)は、葉の切れ込みがもう少し浅い。



オオバコ科オオバコ属

# ヘラオオバコ

原産:ヨーロッパ

ハーブとして、下痢止め・咳止め・血止め・利尿・強壯の効能がある。



オオバコ科クワガタソウ属

# オオイヌノフグリ

原産:ヨーロッパ

別名:星の瞳、ルリカラクサ

在来種のイヌノフグリより大きい。果実が犬の陰囊(フグリ)に似ているため。



ナデシコ科ノミノツヅリ属

# ノミノツヅリ

原産:ユーラシア

小さいため、葉が蚕の衣服にたとえられた。



トウダイグサ亜科ニシキソウ属

# ハイニシキソウ

原産:アメリカ大陸

近縁のコニシキソウより小さい。



アブラナ科マメゲンバイナズナ属

# マメゲンバイナズナ

原産：北アメリカ

果実が軍配に似ている。亜鉛やカドミウムを蓄積し無毒化できる。



ムラサキ科キュウリグサ属

# キュウリグサ

原産：中国

葉や茎をもむとキュウリの匂いがする。



バラ科キジムシロ属

# オキジムシロ

原産:ヨーロッパ

株の様子が、雉が休むムシロに例えられた。「オ」は雄々しいの雄。



シソ科オドリコソウ属

# ホトケノザ

原産:不明

別名:サンガイグサ

春の七草のホトケノザはコオニタビラコのこと  
で、これとは別種。種子の表面にアリの好物を  
分泌し運ばせる。



ヒユ科アカザ属

# アカザ

原産:ユーラシア

ほうれん草の仲間、食用  
新芽が赤い



ヒユ科アカザ属

# シロザ

原産:ユーラシア

ほうれん草の仲間。食用  
新芽が白い



ヒユ科アカザ属

# エノコログサ

原産：不明

別名：猫じゃらし

穂が犬の尾に似ているため、犬っころ草が転じた。穀物の粟の原種



ヒユ科アカザ属

# スギナ

原産：北半球の温帯

春に地下茎の一部が孢子茎となり地上に出たものがツクシ(土筆)





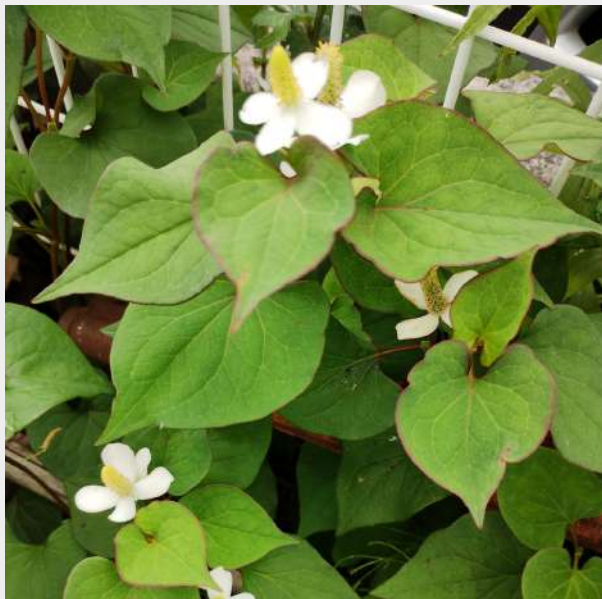
ドクダミ科ドクダミ属

# ドクダミ

原産: 不明

別名: ドクダメ、ジゴクソバ

「ドク」とあるが無毒で、生薬として優秀。ゲンノショウコ、センブリ、ドクダミが日本三大民間薬。アルデヒド由来の臭気があるが、熱したり、乾したりすると弱まるため食用にもなる。



ケシ科ケシ属

# ナガミヒナゲシ

原産: 地中海沿岸

黄色または乳白色の体液はアヘン成分を含まないアルカロイド毒を有する。茎の剛毛は皮膚に突き刺さる。一つの果実に約1600個のケシの実、車のタイヤや靴底等に付着して拡散。他の植物を枯らす「アレロパシー活性」が高い。

